

＜小学部（高学年）＞

1 概要

小学部高学年の児童は、4年生8名、5年生18名、6年生18名の計44名が在籍しており、通学生は38名、施設生は6名となっている。児童の障害の状況としては、知的障害を伴う自閉スペクトラム症・ダウン症・脳性まひなどであり、中でも自閉スペクトラム症の占める割合が高くなっている。健康面では、医療的ケアを必要とする児童も在籍している。また、思春期の入口に差しかかり、障害特性や発達段階に応じた指導に加えて、思春期をむかえる中での課題に対する適切な支援を必要としている。

2 教育方針

高学年では、低学年の3年間で培ってきた力を基に、学部教育目標を達成するために児童一人ひとりの課題に迫る教育活動を行う。そのために

『多様な集団を保障する』

『身のまわりのことに意識を向け、自分で取り組む力をつける』

『人やものに対する興味・関心をさらに広げ、好きなことや自分でできることを増やす』

『自分の思いを伝えたり、相手の思いを受けとめたりする力をつける』ことを大切にする。

その他に、家庭や医療機関、また地域における各関係諸機関との連携を大切にする。

3 教育目標

◎ 多様な集団の中で人やものへの興味・関心をさらに広げ、生きる力をつける。

(1) 生理的な基盤や生活リズムを整え、より確かなものにし、健康な身体をつくる。

基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全・快適な生活をめざす。

(2) 楽しく身体を動かす中で、様々な身体の動かし方や使い方を知り、運動機能や体力の向上をめざす。

(3) 主体的・体験的な活動を通して、人やもの、学習への興味関心を広げ、日常生活に生かせる力をつける。

(4) 自分の思いを伝えるとともに、相手の思いを受けとめたり自分の気持ちを調整したりする力をつける。

様々な集団での活動を通して、仲間を意識する力をつける。

4 学部のスローガン

「みんなともだち にこにこ なかま」

5 教育課程の特色

日常生活の指導、課題学習、自立活動、特別活動などを設定している。一人ひとりの児童が意欲的に、また主体的に活動できるようにどの学習場面でも、その活動が「生活の向上に根ざしたものであること」「興味関心をもって学習できること」「友だち同士が響き合えること」を大切にする。

基礎学級は、教育課題別の集団編成である。編成については障害特性や認知面だけでなく、「自我」を軸に据えた内面の育ち、発達段階や運動面、基本的な生活能力や子ども同士の相互の関係、医療的ケアの必要性などを考慮して編成している。また、実態に即した教育を行うため、さまざまな指導形態の教育課程を編成している。

学習は学級集団を基礎にして、学級を越えて、合同音楽、合同体育、なかよし集会、学年集会など多様な集団を保障している。特に、学年別の集団では、4年生「やまのこ」、5年生「びわ湖フローティングスクール」、6年生「修学旅行・卒業式」の行事を中心に学習活動を展開し、仲間と一緒に育ち合うことを大切にする。

小学部高学年 教育課程表(令和6年度)

種別		知・単/知・重 肢・重(Ⅰ)	知・単/知・重 肢・重(Ⅱ)	知・単/知・重 肢・重(Ⅲ)	知・単/知・重 肢・重(Ⅳ)	肢・単		
各教科 科目等	部・ 学 年	小高部 4～6年	小高部 4～6年	小高部 4～6年	小高部 4～6年	小学部 高学年	小学部 高学年	小学部 高学年
						4年	5年	6年
各教科 等を含む 指導	日常生活 の指導	14	14	14	14			
各教科	生活	4	3	3	2			
	国語	0.5	0.5	1.5	1.5	7	5	5
	社会					2.6	2.9	3
	算数	0.5	0.5	1.5	2	5	5	5
	理科					3	3	3
	音楽	2	1	1	1	1.7	1.4	1.4
	図画工作	1	1	1	1	1.7	1.4	1.4
	体育	1	1	1	1	2	1.6	1.6
	家庭						1.7	1.6
	外国語						2	2
特別の教科	道徳	(*)	(*)	(*)	(*)	1	1	1
外国語活動						1		
総合的な 学習の時間						2	2	2
特別活動	学級活動 児童会活動	1	1	1	2	1	1	1
自立活動	自立活動	5	7	5	4.5	1	1	1
週合計		29	29	29	29	29	29	29

* 「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。